

キヤノンは創業以来、カメラを通じて映像を美しく「撮る」「見る」イメージング技術を極めてきた企業だ。今ではカメラにAI（人工知能）などのデジタル技術が融合し、「体験する」「活用する」技術へと進化を遂げている。まず今回は、社会を見守るために映像情報を最大限「活用する」イメージング技術について、山田昌敬専務執行役員に聞いた。



映像の力で社会を見守る

映像解析を活用したDX推進

「キヤノンのイメージング技術は社会の変革にどのように貢献していますか。」

「ネットワークカメラと映像解析ソフトウェアを活用し、映像から必要な情報を取り出し提供することで、社会の安心・安全と快適に貢献しています。ネットワークカメラではキヤノンの光学・映像技術も活用したグループ会社のアクセスコミュニケーションズ社の圧倒的な製品ラインアップと、9万拠点に上るグローバル販売網が強みです。同じくグループのマイルストーンシステムズ社の技術を使えば、数千台にも及ぶカメラの映像を一括管理でき、さらにAIキュリス社のクラウド技術を組み合わせた複数地域にわたる映像活用も可能です。膨大な映像データから企業や行政、市民のそれぞれが必要とする情報を提供できます。」

「具体的な事例を紹介しますと、イベント会場などに集まった数千人の群衆の推移をほぼリアルタイムでカウントする「群衆人数カウント」は警備員の最適配置や入場制限などの判断に利用されます。プリーフカム社の「映像要約・検索技術」は数時間の録画データを数分に要約でき、状況検証の作業を効率化し迅速な判断を可能にします。さらに要約した映像から対象物などを色、大きさ、移動方向などで検索できる「フィルター機能」は、例えば右折禁止の場所で違反した車をすばやく見つけ出すことができます。」

「様々な仕事のDXデジタルトランスフォーメーションにも貢献していますね。」

「例えば製造現場では、部品の検品や製造装置の異常検知に使われています。作業の自動化で人手不足に対応でき、品質向上にも貢献しています。病院での患者さんの見守りや、店舗の業務効率化などにも活用されています。また、映像情報から現在地を推定し、瞬時に周囲の環境を3次元



キヤノン株式会社
専務執行役員
イメージンググループ管掌
イメージソリューション事業本部長
山田 昌敬

顧客視点で技術進化

「今後、さらなる豊かな暮らしの実現にどのように貢献していきますか。」

「橋梁や道路、トンネルなどの重要なインフラの劣化状況を、AIで映像解析して構造物のひびや劣化を検知する技術を開発しました。熟練労働者が減少し人手不足が進む中で、老朽インフラのメンテナンスは重要な社会課題になっています。キヤノンの光学・映像技術を活用した社会貢献として取り組んでいきます。」

「また、次世代の「SPADセンサー」を搭載した超高感度カメラを開発しました。光子（光の粒子）を数える仕組みで、低照度の環境でも電気的なノイズを抑えてクリアなカラー映像が得られます。これを放送用高倍率レンズと組み合わせると、港湾で数キロ先の不審船を見つけることもできます。」

「キヤノンは創業時からお客様とのコミュニケーションを通じてお困りごとやご要望を知り、技術を進化させてきました。映像に含まれる膨大な情報をどのように活用すれば社会課題を解決できるのか。お客様から学び続け、グループの総力を挙げて様々な必要領域に的確に応えていきます。」

「今月は「Canon EXPO 2023」が開催されます。」

「撮影した映像情報を活用した様々なソリューションをご紹介します。都市、生産現場、社会インフラ、農業、店舗など多岐にわたる領域で、自動化や生産性の向上に貢献する技術を詳しくご説明します。安心・安全で快適に過ごせる社会の構築に技術で貢献する当社の姿勢を感じていただきたいと思います。」

※SLAM（Simultaneous Localization and Mapping）の略で、自己位置推定と環境地図作成を同時に実行する機能



Future Focused. Always.
未来の可能性を、ひろげ続けよう

「Canon EXPO 2023」は、キヤノングループの目指す方向性を示す展示会です。時代の要請やビジネス環境の変化に適切に、事業ポートフォリオを大きく転換しつつあるキヤノンの姿や、最新の製品やサービス、それを支える技術、社会へ貢献するソリューションを展示します。さらに、それらの技術を活用した新領域での取り組みも紹介します。ぜひこの展示会でパワーアップしたキヤノンを体感してください。

【Canon EXPO 2023開催概要】

日時：2023年10月19日（木）・20日（金）
10時～18時（最終入場17時）

場所：パシフィコ横浜ノース
神奈川県横浜市西区
みなとみらい1丁目1番2号



※来場には、事前申し込み（無料）が必要です。来場登録はこちらから



make it possible with canon